

問題提起型≡二講演

●市民にまちづくりの主体がシフトしてきた

- 市民の社会参加・参画・協働とまちづくり

中央教育審議会答申（2018）における社会教育への期待

●持続的に活性化した地域となるために

- ゆるやかな、無理をしない、絆とまちづくり

キーワード！“社会的処方”と宗像モデル

さそい・さそわれ・つなぐ絆のあるコミュニティの構築戦略！

- コミュニティデザイン／サービス・ラーニング（社会貢献学習）

●自治体職員の皆様へのお願い

①市民活動の重要性への理解と支援

（「新しい公共（ボランティア）」の有効活用、**市民活動を文化へ！**）

②“無理をしない”市民への声かけ・さそい・つなぐ役目



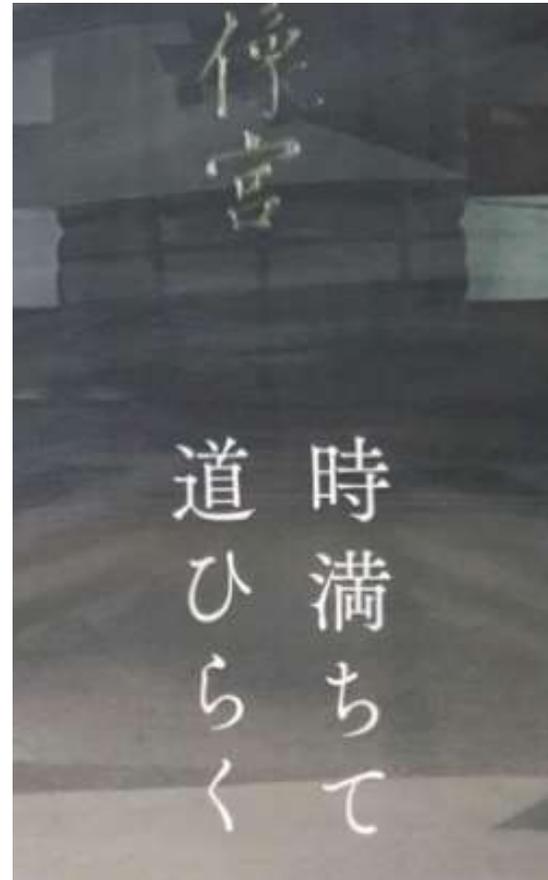
宗像モデルの構築！

宗像（ムナカタ）の歴史遺産とは

▣ 道（路）を拓いてきた土地であり、そのことで社会貢献をしてきた地域。

（宗像大社）

▣ この歴史を継承し、見通しのない閉塞感漂う時代を市民主体の社会教育（生涯学習）を活用して「つなぐ」「つながる」絆で、未来を「拓く」、先進的な宗像モデルの構築を提言する。



あらためてコミュニティとは

コミュニティの語源

ホーリー・コムニオン (HOLY COMMUNION)

- ☛ キリスト教における霊的な交わり・聖餐式を共にする人の集まり
- ☛ 米国の建国当初、コミュニティの構成要素は、家族・言語・宗教（教会）・防衛・相互扶助・道徳・生産（農業）・教育とされ、その中でも家族や地域の人々を守るための防衛及び相互扶助が必要不可欠とされた。

※共同社会感情 (COMMUNITY SENTIMENT)

①我ら意識 (WE FEELING) / ②役割意識 (ROLE FEELING)

③依存意識 (DEPENDENT FEELING)

マッキバー (**R.M.MACIVER 1882-1970**)

山田明「サービス・ラーニングにおけるコミュニティの概念（日米比較）」

日本人類言語学会、2002。



あらためて協働とは バーグストローム (BERGSTROM)

	連携のレベル		連携の目的
1	ネットワーク	Networking	情報交換・親睦 情報収集・蓄積 互いが助け合う基盤形成
2	協力・協調	Cooperation / Alliance	二ーズの結び付け・対等の連携関係の構築 連携機関の課題達成の支援 互いが提供する事業内容の重複を避ける
3	調整・パートナーシップ	Coordination Partnership	共通の課題解決を目的に互いの資源を出し合う 新たな創造を目的に互いの資源を出し合う
4	連合	Coalition	同じ理念の共有 既存の制度から資源を再発見し確保する 3年間以上の連携活動を目指す
5	協働	Collaboration	共通の課題の達成 課題の解決・活動機会の確保・拡充 双方が依存しあえるシステムの構築

社会教育に期待する中央教育審議会（答申）

「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた 社会教育の振興方策について（答申）2018年」

第1部 今後の地域における社会教育の在り方

1. 地域における社会教育の意義と果たすべき役割

「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり

2. 新たな社会教育の方向性

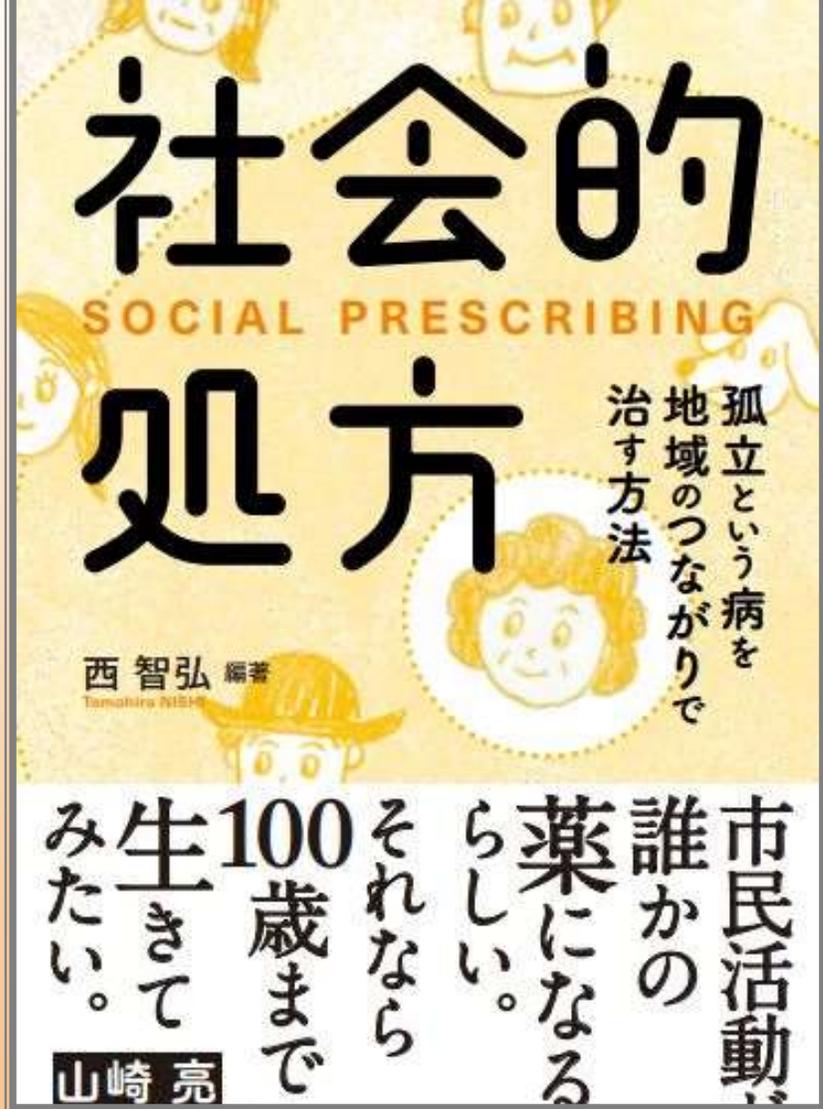
開かれ、つながる社会教育の実現

※社会教育 ➡ 個人の成長と地域社会の発展の双方に重要な意義と役割



社会的処方





市民活動が誰かの薬になる！

社会教育の未来的処方箋の検討

- ▣ 地域住民すべてがつなぐ主体になりうる

※多くの市民を巻き込んだ市民参加・参画が期待される

社会的処方とは、**孤立という病を地域のつながりで直す方法をいう。**

①英国発祥の取り組み（**医療者の提案、医療的処方との協働**）

②**医療機関に持ち込まれる問題の20%~30%は社会的問題である**

③**ニーズのある人（ヒアリングを前提）と地域における多様な市民活動やサークルをマッチングさせることによりその人が自律的に生きていけるように支援するとともにケアの持続性を高める。**

例えば、地域包括支援センターへの相談で、医療に関することや高齢者の後見制度などはしてもらえるが、日常生活に関する詳細な相談までは難しいのが現実である。この日常生活の問題を地域の力で治そうとするのが社会的処方である。

コミュニティにおける社会的処方

- ①緩やかなシステムを構築する（自治体、NPO、市民活動団体等）
- ②地域資源をつなげる（人と人、地域と地域、組織と組織）
- ③公民館、コミュニティセンター等既存の社会教育施設を活用する
- ④リンクワーカー（ボランティア）を市民活動の中で養成する
- ⑤活動者・リーダーの発掘及び育成

コミュニティ デザイン



コミュニティデザイン



コミュニティデザインとは、ワークショップやイベントという「かたちのない」

ソフト面をデザインの対象とする。

1. 地域資源の再発見（まちの良い所を住民が自ら探す） ▣ まちの魅力再発見
2. 住民中心のワークショップ（課題解決） ▣ 人と人、地域と地域をつなぐ
3. 持続的な地域（コミュニティ）のために市民と自治体間の役割と仕組みを考える

コミュニティデザイン [人と人をつなぐまちづくり]

基本的手法

- 自治体主催の住民説明会・ワークショップ・市民活動・市民主体の勉強会を通して対話の場を設け人と人をつなげる

※デザイン (DESIGN)

目的をもって具体的に立案・設計すること

- 新しい社会教育

第62回全国社会教育研究大会（新潟大会）令和1年11月

研究主題：新しい社会教育をデザインする

～つなぎ はぐくみ 響きあう 生涯学習社会の実現～



サービス・ ラーニング

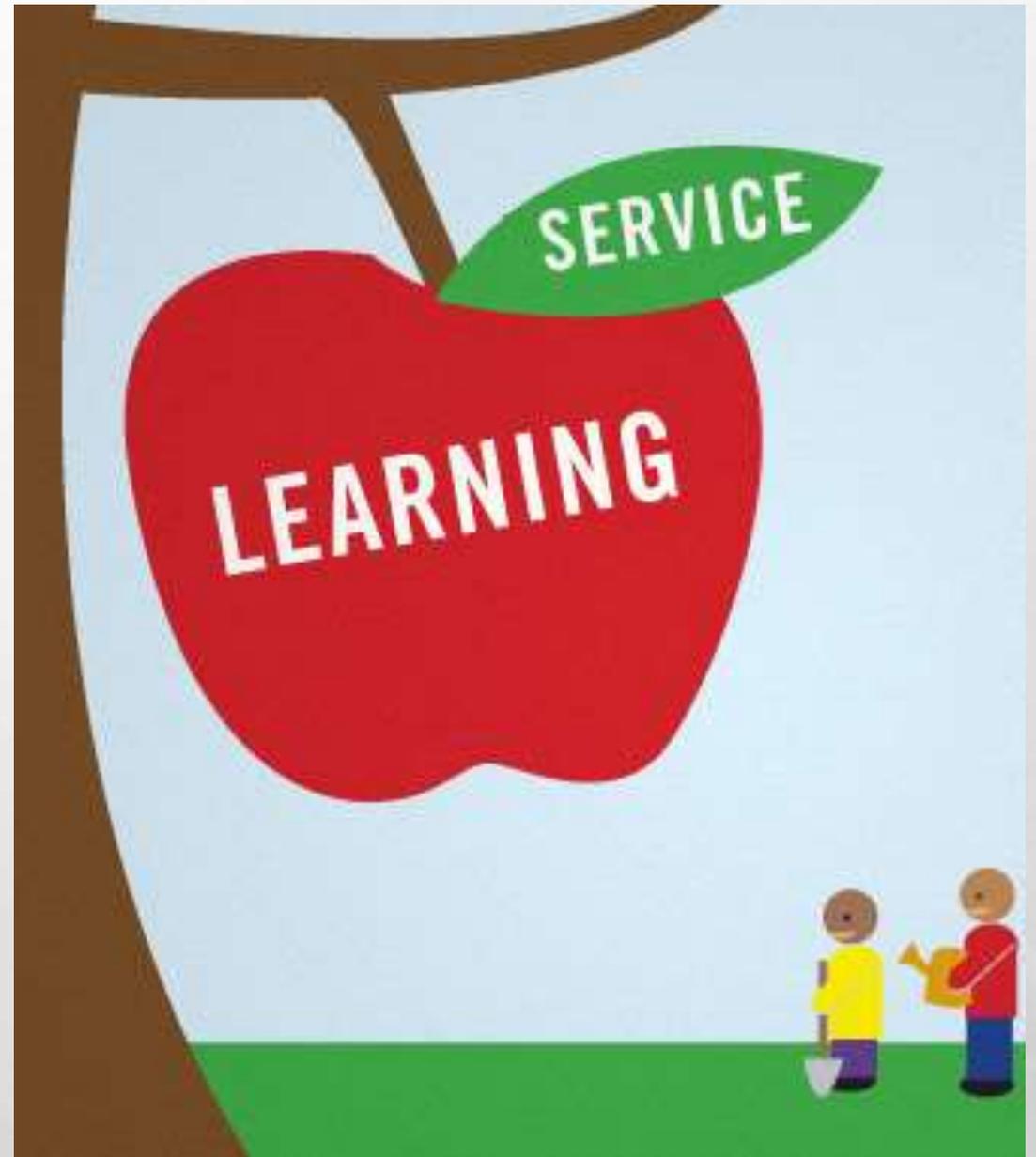


サービス・ラーニングとは

地域社会のニーズに基づき、学校の教育課程やカリキュラム（教科・道徳・特別活動・総合学習）に関連したサービス活動（ボランティア）を通じた社会貢献を体験することで学びの深化を図る学習形態。

①事前学習・②活動・③振り返り・④祝福の経過を踏んだ計画的・組織的・継続的な教育手法。

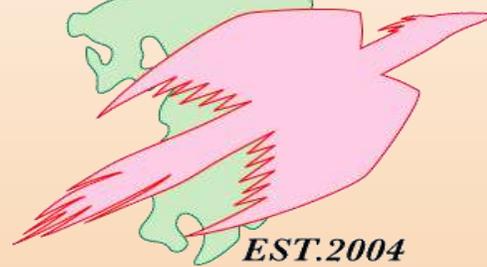
（山田明『サービス・ラーニング研究（2008）』）



NPOサービス・ラーニング・フォーラム宗像（2004設立）



Service Learning Forum
in MUNAKATA



EST.2004



宗像市において青少年育成を目指し設立した市民活動団体
福岡教育大学大学院関係者が設立メンバー

講演者の実践事例（市民活動として実践）

宗像市には、多くの“熱い市民”がいる！

自治体（宗像市）と市民活動がうまく機能した事例／モチベーションが上がった事例

NPOサービス・ラーニング・フォーラム宗像
宗像市民ニーズ調査・大島ニーズ調査（2004）
※宗像市への提言

九州共立大学スポーツ学部 山田明研究室
筑前大島における健康スポーツ・プロジェクト（2018～）
※宗像市元気な島づくり事業補助金
※大島コミュニティ・大島学園・保育園との連携協働

宗像市民ニーズ調査・大島ニーズ調査プロジェクト (2004)

～宗像市をより住みよくするために～

宗像市民のニーズ調査報告書



私たちは高校生です。ご協力ありがとうございました。

宗像市へ提言しよう。

サービス・ラーニング・フォーラム宗像主催
高校生サマープログラム 2004
市民のニーズ調査グループ
2004年 7月25日～8月29日

～ 大島村をより住みよくするために ～

大島村のニーズ調査 報告書



サービス・ラーニング・フォーラム宗像 主催
高校生ウィンタープログラム 2004
2004. 12. 26 ~ 2005. 3. 31

筑前大島健康スポーツプロジェクト 2018~



宗像市への貢献



地域連携に活用したいサービス・ラーニング

中学校	総合的な学習の時間・ボランティア
高校	学校設定科目・学科設定科目・コース設定科目・課題研究・実習 ボランティア
大学	課題演習・実習・サークル活動・ボランティア

マニュアルがない中で、地域の伝統を継承しつつ、新たな時代を模索していく未来志向的コミュニティ構築の重要性！

- ▣ 宗像市には市民活動の伝統と土壌がある！

宗像モデルの構築



1980年代（生涯学習時代の幕開け）における宗像の先進モデル

中央教育審議会答申	1981（昭和56）	「生涯教育について」
臨時教育審議会答申	1984 - 87 （昭和59～62）	「生涯学習体系への移行」 ※宗像市の先進的プログラム 「コーヒー一杯で生涯学習」
中央教育審議会答申	1990（平成2）	「生涯学習の基盤整備について」

宗像モデル

宗像市は、宗像ユリックスや**市民学習ネットワーク**（コーヒーマーケットで生涯学習）等の全国的にも先駆的な施策で、**社会教育（生涯学習）まちづくり**を推進してきた都市である。この基盤を継承し、**市民参画条例**を基盤にして**市民協働環境部コミュニティ協働推進課**と**市民参画等推進審議会**が中心となり市民と協働して市民活動の推進をすすめている。未来的志向として、先進的“社会的処方”の手法で市民参加・参画・協働のまちづくりの構築が期待される。まさに、社会教育における宗像モデルである。

市民活動の支援（市民活動を文化へ！）

フューチャー・デザインへの取り組み ▣ **社会的処方**

(1) 地区コミュニティとコミュニティ協議会の活動

(2) 市民活動推進プラン<宗像、カタロウ>

▣ コミュニティデザインの導入

(3) 市民参画等推進審議会の活動

人づくりでまちづくり事業・元気な島づくり事業の充実 等

(4) 青少年育成プロジェクト（ホップアップキャンパス等）

▣ サービス・ラーニング（社会貢献学習）の活用

(5) 宗像市・福岡県と大学・高校等との**地域連携**

宗像、カタロウ

～参加・参画・協働による魅力あるまちづくりの基本指針～



ムナカタ・カタロウ

(市民活動推進計画)



市民と市民をつなぎ、
地域と地域をつなぎ、
地域の組織と地域の組織をつなぐ。

■ つなぐのは、

市民・地域の組織（市民活動団体等）

自治体（職員）

次世代育成プロジェクト

大学生・高校生と交流する1日限りのキャンパス！

市内2大学、2高校、市で構成している「むなかた大学のまち協議会」が、各校の魅力を体感するイベントを開催。各校の学生、生徒による学校の魅力発表やパネルディスカッションの他、食や防災の取組を通じた地域づくりに関する講演会を行う。各校の交流ブースもご用意した。

ポップアップ キャンパス in むなかた

身近な大学生・高校生の話をきくことができるよ！

～大学生・高校生と交流する1日限りのキャンパス！～

内容

- 僕たち私たちの学校自慢！大学生・高校生による魅力発信タイム
- 「やさしくて強い地域の絆づくり～食・防災（減災）の取組から～」講演会：柴田真佑氏（大分県佐伯市まちづくり推進課）
- 柴田氏と大学生・高校生と市民によるパネルディスカッション「高校・大学・地域・市で連携できることは？」

開催日時 12月15日（13:00-17:00）

参加無料

場所 メイトム宗像 多目的ホール

参加対象 中学生・高校生・大学生・地域にお住まいの方

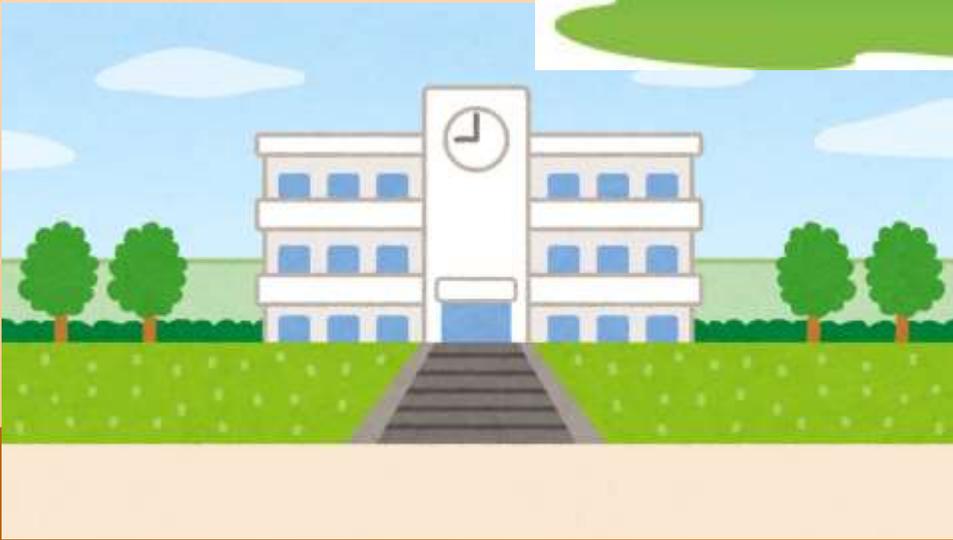
参加学校 日本赤十字九州国際看護大学・福岡教育大学
東海大学付属福岡高等学校・福岡県立宗像高等学校

問合せ先 むなかた大学のまち協議会 事務局（宗像市コミュニティ協働推進課） TEL：0940-36-5394

参加申込方法プログラムの詳細は裏面をご覧ください！



地域連携 [学校と地域の協働づくり]



福岡教育大学
日赤看護大学
東海短大

宗像高校
東海大福岡
各小学校・中学校

学園都市！宗像

宗像市役所の 皆様へ

市民参加
市民参画
協働



あらためて「問題提起型ミニ講演」メッセージ

●市民にまちづくりの主体がシフトしてきた

- 市民の社会参加・参画・協働とまちづくり

中央教育審議会答申（2018）における社会教育への期待

●持続的に活性化した地域となるために

- ゆるやかな、無理をしない、絆、まちづくり

キーワード！“社会的処方”と宗像モデル

さそい・さそわれ・つなぐ絆のあるコミュニティの構築戦略！

コミュニティデザイン／サービス・ラーニング（社会貢献学習）

●自治体職員の皆様への期待

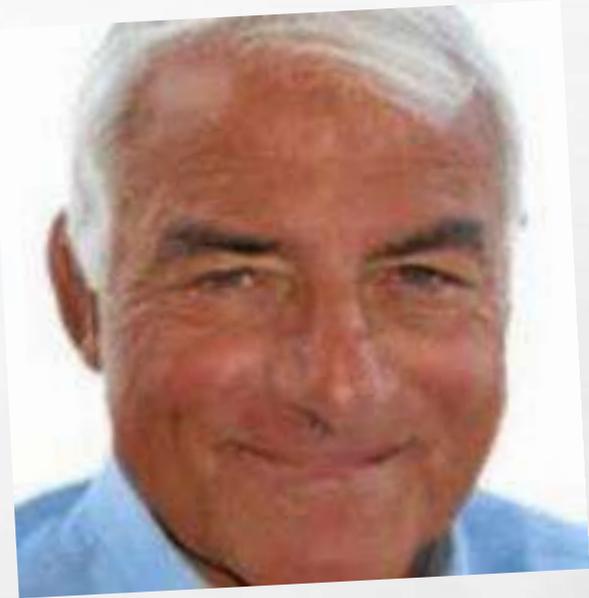
- ①自治体職員の皆様による市民への声かけ・さそい・つなぎ
- ②市民活動の重要性への理解と支援

（「新しい公共（ボランティア）」の有効活用、市民活動を文化へ）



社会的処方視点から
「私たち一人ひとりが、ごく当たり前
のようにお互いに支え合う人間的な
絆こそが、私たち一人ひとりの心を
強くし、社会の力を強くする」

アレン・フランセス
米国デューク大学教授(精神科医)



社会的処方視点から

「私たちは、人類史上かつてなく
他人と**接続**しているのに、なぜ
孤独を感じるのだろうか。」

アンデシュ・ハンセン

(スウェーデンの精神科医

著書『一流の頭脳』が世界的ベストセラー)



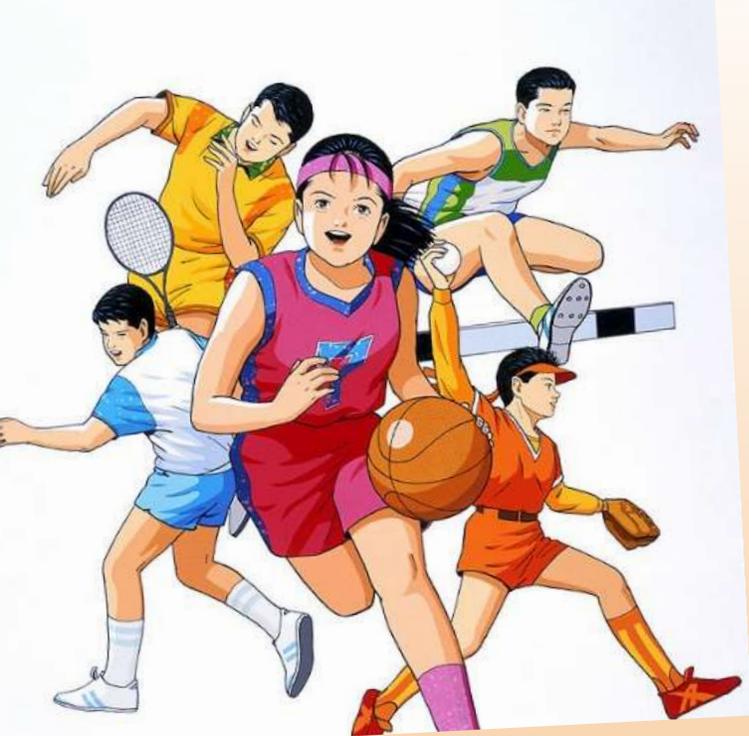
宗像カタロウ

(語る・加わり仲間になる) !

そして

身近な誰かを誘おう!





ご清聴
ありがとうございました！

FIN